

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!

村上優哉さんに西脇市スポーツ賞を贈呈

〔7月5日 西脇市役所〕



国内のみならず世界でも活躍する村上優哉さん

柔道の全国大会や国際大会などで優勝された村上優哉さんに「西脇市スポーツ賞」をお贈りしました。

村上さんは、神戸国際大学附属高校に通う2年生。幼稚園のころから黒田庄柔道少年団に通い始め、早くから全国を舞台に活躍してきました。

高校では、1年生のときから全国高校総体に出場し、今年4月10日には17歳以下の選抜選手が出場する「全日本カデ柔道体重別選手権大会」で優勝。5月22日に開催された「ポーランドカデ国際大会」では、全試合一本勝ちで優勝という快挙を達成しました。

村上さんは「7月30日から始まる全国高校総体で優勝できるようにしっかり調整したい」と意気込みを語りました。村上さんの今後のご活躍にエールを送りましょう。

片山市長が講師として特別授業を実施

〔7月5日〕 市内各小中学校〕



比延小学校と双葉小学校による合同授業の様子

市内小学6年生および中学2年生を対象に、片山市長自らが講師として授業を行う「市長ふるさとを語る」事業が、7月5日からスタートしました。

子どもたちが西脇市に生まれ育ったことに誇りを持つきっかけとし、ふるさとで貢献したいという気持ちをはぐくむことを目的としています。この特別授業では、市長が西脇市の概要を説明した後、児童生徒らが課題などについて考えました。また、「自分が市長になったらしたいこと」について意見交換をするなど、児童生徒らは積極的に夢を語りました。



「自分が市長だったら」と夢を語る児童

姉妹都市レントンへ—中学生が異文化体験

〔6月27日 生涯学習まちづくりセンター〕



派遣される14名の中学生と団長・随員

姉妹都市アメリカ・レントン市へ派遣される中学生親善使節団の結団式が行われました。派遣は昭和62年から続いており今回で30回目。今年は8月16日から10日間、14人の中学生がホームステイをしながら異文化を体験します。生徒らは「レントンの文化を持ち帰りたい」と抱負を語りました。

高校生が熊本支援の茶会を開催—チャリティ茶会

〔7月17日 コミュニティーセンター西脇区会館〕



心を込めて点てたお茶を振る舞う両校生徒ら

西脇高校と西脇工業高校の茶道部員らが、平成28年熊本地震の被災者を支援する「チャリティ茶会」を開催しました。お茶券の収益は日本赤十字社を通じて被災地に義援金として送られます。生徒らは「きびしく不安な生活を送られている熊本の方々のお役に立ちたい」と話しました。

播州織海外普及研修生が帰国

〔7月15日 西脇市役所〕



片山市長に研修報告を行う小澤秀光さん

北播磨地場産業開発機構の「播州織海外普及研修支援事業」を活用して、仏・パリで研修を受けていたオザワ織維株式会社の小澤秀光さんが帰国し、報告のため市役所を訪問。小澤さんはパリで有名ブランド5社を訪れ、西脇市内6社の播州織生地約40点のサンプルを携えてプレゼンしました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



第26回北播磨地区消防操法大会が開催され、ポンプ自動車操法の部で西脇市消防団第5分団比延部が優勝。8月7日の県大会に出場します。(7月10日、県立広域防災センター)



MOA西脇健康生活ネットワーク主催の健康増進セミナーが開催され、健康セミナーや岡田式健康法体験を行いました(6月25日、茜が丘複合施設みらいえ)



第18回「あなたが主役フェスティバル」。舞踊やパレエなどのステージ発表やのど自慢などが行われました/市民企画委員会「0」主管(7月17日、市民会館)



7月は社会を明るくする運動強調月間。「更生保護の日」である運動初日に、西脇多可保護司会が総理大臣メッセージを市長に伝達(7月1日、西脇市役所)